

会員通信

2023.2
Vol.41



- ネットワーク会員に聞きました!... 1
「漢検で出会った意外な読みや意味の漢字・言葉」
- 第33回 研修会報告 2・3
- 漢字教育サポーター研修会報告... 3
- ネットワーク会員の地域別分布状況 4
- 漢字の小径(コラム) 5
- サポーターリレーコラム 6
- 常用漢字の表外読みをチェックしよう! 7
- 投稿募集 8

ネットワーク会員に聞きました!

今回のアンケートテーマは「漢検で出会った意外な読みや意味の漢字・言葉」です。

ネットワーク会員の皆さまに教えていただきました!(回答者:20名)

意外な読み

ちょうせんになじん【蔘】

通常、「朝鮮人参」と4文字で表すはずだが、それをたった1文字だけで表せるので、漢字のおもしろさを再認識できた。



こちらは複数の方から寄せられました。長い訓読みはとても印象に残りますね。



とりしらべる【鞫べる】

蹴鞠(けまり)の「まり」のイメージが強いのでびっくり。「取り調べ室」を「鞫べ室」と書いてしまう。

罪を問いた다는という意味で、「鞫問(キクモン)」「鞫訊(キクジン)」という言葉があります。



ゆかり【縁】

「縁もゆかりもない」という言葉がある。同じ漢字で違う読み方をしていると初めて知った。

1級・準1級では表外読みを持つ常用漢字が出題されることもあります(P.7もチェック!)。その他寄せられた表外読みはこちら! 「転(くるり)」「次る(やどる)」「法(フラン)」「叔い(わかい)」「医(くすし)」「妻わせ(めあわせ)」



ちゅっちよく【黜陟】

〈意味〉功績のない者をしりぞけて、功績のある者を昇官させること。

1級の勉強をしているときに、「チュツ」という音読みがあることに驚いた。この音読みの例はかなり少ないので、覚えるのは容易だった。

「チュツ」という音読みは非常に珍しく、記憶に残りやすいですね。



意外な意味

えいしゅ【贏輸】

〈意味〉賭け事の勝ち負けのこと。「贏」には「勝つ」、「輸」には「負け」という意味があり、「輸」の音読み「ユ」が慣用読みであったことに驚いた(本来の音読みは「シュ」)。

普段よくみる「輸」にダブルで発見がありましたね!



ちょうもく【鳥目】

銭の異称。江戸時代までの銭貨は真ん中に穴が開いており、鳥の目に似ていることから言われている。しかし何故鳥の目なのか不思議に思う。



銭から鳥の目を連想するとは昔の人の観察力はすごいです!



ひしめく【犇く】

「ひしめく」といえば人がたくさん集まっているイメージが一番強く、牛の印象は全くありませんでした。

「犇」という字は「牛が驚いて走る」「たくさんの牛が走る」様子が由来になっているようです。



※文面は、ご投稿内容をもとに編集しています。

編集部よりコメント

ご回答ありがとうございました! 漢検1級・準1級では表外読みなど漢字の意外な一面を知ることができます。学習で得た「驚き」は「なぜ」へと変わり、知的好奇心の扉が開くきっかけになることもあります。こちらに載せきれなかったご回答の一部はメルマガ等で紹介予定です。

今回のアンケートテーマは「ネットワーク会員の検索履歴」です。回答方法は8ページをご覧ください!



研修会 報告

第33回 会員向け研修会を開催いたしました

2022年11月6日(日)に漢検 漢字博物館・図書館(漢字ミュージアム)にて、会員向け研修会をオンラインと対面のハイブリッド開催をし、約90名の方にご参加いただきました。ご講演内容を簡単にご紹介いたします。

人名に使われる漢字の用法について

大阪大学大学院教授 岡島 昭浩 氏

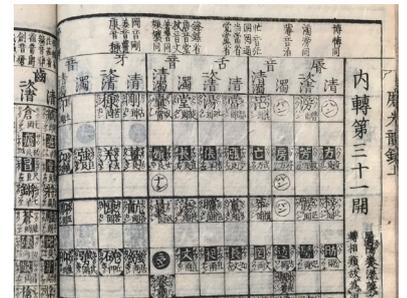


1. 近世以降の名づけ

名づけに関する本は多数出版されています。漢字の画数による姓名判断は馴染みがあると思いますが、姓名判断の歴史は長く、江戸時代には、『韻鏡』による姓名判断が行われていました。名づけに関しては、『韻鏡』に加え、「木火土金水」の五行に基づいた本も多く出されていました。その後、明治時代ころからは、現在使っているような流儀の画数による姓名判断が非常に盛んになりました。

漢字には一般的な音訓の他に、名乗り(人名訓)という読みがあり、これが日本人の名前の読みの難しさを示し

ています。晋司(しんじ)や幸史(こうじ)の「じ」のように、本来の「し(清音)」としか読まない漢字が音環境によって「じ(濁音)」に変化(連濁)するのは昔からあります。



「磨光韻鏡」

しかし、現在は卓司(たくじ)のように、音環境に関係なく、連濁読みを流用した読みが広がっています。

2. 最近の名づけの特徴

最近の名づけ本では、従来の読み方とは異なる読みの掲載が非常に多くなっています。特徴的なのは、「充(あ)てる」を「あ」と読むように、送り仮名を取るものや、渚を「な」、月を「つ」、希を「の」のように、漢字の冒頭一字だけを読む略訓です。読み間違いと処理していたものを、現在は意図的に行っているように思えます。反対に読み添えも拡大していて、妃と莉を組み合わせ、そこにない「ま」の音を間に添えることで、妃莉と書いて「ひまり」と読ませるようなものも増えています。

その他、月奈と書いて「るな」と読むような例もありま

す。「月」だけで「るな」という外来語に対応しますが、「るな」という読みであると明示するために奈の字を添えています。このようなものを捨て仮名と呼ぶことがあり、「奈」は捨て漢字とも言われます。

無理な読み方に見える名前は昔からありますが、現在ではずいぶん性質が変わってきています。近年の名づけ本のもう一つの特徴として、漢字の説明が非常に簡単になってきて、代わりに実例が掲載されている名前リストが中心になっているようです。

3. 略訓による漢字の表音文字化

略訓という考え方は、江戸時代の万葉集研究から盛んになりました。当時の資料によると、略訓は万葉仮名の分類の一つとして提唱されています。しかし、池上禎造「漢字と日本の固有名詞」が指摘するように、略訓と捉えられていた「足」は元々「あ」という一音一語で、そこに「し」が加わったものであり、略訓であるという解釈は間違いだと指摘しています。略訓は万葉集の時代には本来ないはずが、誤解によって略訓という考え方は拡大

されていき、人名でも略訓が広がっています。

略訓の中でも特に近年、一字一音(一字一拍)が増加しています。1980年代前半の名づけ本(日本語学者が名づけ本に関わった)では、「あ」と読む字は安、亜、阿のみですが、2010年代の名づけ本では、30近くあります。上に示した「充(あ)てる」の上だけを取った「あ」など、漢字の従来の使い方からずいぶんはずれてきたものが目に付くのです。

本来、漢字には形音義、つまり文字の形、音、意味という3要素があります。また、音と義の結びついたものが語であり、それで漢字が表語文字とされるわけです。中国語における漢字は表語文字の典型ですが、日本では万葉集の時代から、中国語の意味を使い、日本語の音を表す正訓という使い方がありました。対して仮名は、中国語の音を使い、日本語の語形を示すものです。この、正訓(表意用法)と仮名(表音用法)の両方を使うことは、

漢字使用を非常に複雑にしますが、日本では古くから行われてきました。

現在、漢字が表音文字化しています。実際には漢字と意味は直接結ばれているのではなく、言語が媒介します。そういった意味で、表語文字という性格をまだ持っていますが、これが少しずつ来ているのが現状です。

4. 言語遊戯としての名づけ

名づけには、言語遊戯という面もあります。言葉や文字を使って楽しむ知的遊戯で、『万葉集』にも戯訓という、遊戯的、技巧的に当てはめた訓があります。古代からある名乗りにも由来が不明なものも多くありますが、わからないなりに、従来あったものを巧みに組み合わせることで、言語遊戯を楽しみながら名づけをしてきました。

そういった意味では、いわゆるキラキラネームが問題になる少し前までは、読みにくい名前は、漢字の読み方の問題であると捉えられてきました。ところが近年は、名前の音のパターンの種類が莫大に増えています。特にともとパターンが少なかった女性名は、バリエーションを増やすために、意味との関わりの乏しい音を後ろに付け

るなどで増やしてきています(女性名は3拍以内が通常で、パターンを増やそうとしても意味のあるものを使いにくいことになるのです)。

現在は、漢字政策を採った時には想定されていなかったレベルの表音文字化が進んでいます。例えば、「笑」の字を「わらう」というまとまりで読むのではなく、「笑」の一字で「わら」と読むとしか思わない人々も増えています。しかし漢字は本来、音と意味の両方と結びついたものだと意識してほしいと考えます。名づけに関しても、厳しい制限を望むものではありませんが、意味を説明できる範囲の言語遊戯に収めていただきたいと考えます。

漢字教育サポーター 研修会報告

- 日時: 2022年11月6日(日)
- 参加者: 8名
- 研修会内容:
「講座実践のコツ」

漢検対策から漢字の成り立ち、漢字ゲームまで様々な活動をされている、関西在住のサポーターお二人に、過去の活動内容や講座の工夫についてお話をいただきました。

3期 あべ やすお 安部 泰生さん

大阪府内の小中学校で講師経験のある安部さんからは、どのようなテーマで授業を展開し、そこでどんな準備や工夫が必要なのか、イメージがしやすいように教室の雰囲気や受講者の反応の様子を交えながら細かく紹介していただきました。



1期 しばはら いさお 芝原 功さん

子ども向けから大人向けまで、幅広くサポーター活動をされている芝原さんからは、講座で扱っているテーマやクイズの紹介、講座を行う上でのポイント、サポーター活動の場を広げるための行動など実践的なアドバイスをいただきました。



2023年度 生涯学習ネットワーク研修会の日時・場所が決まりました

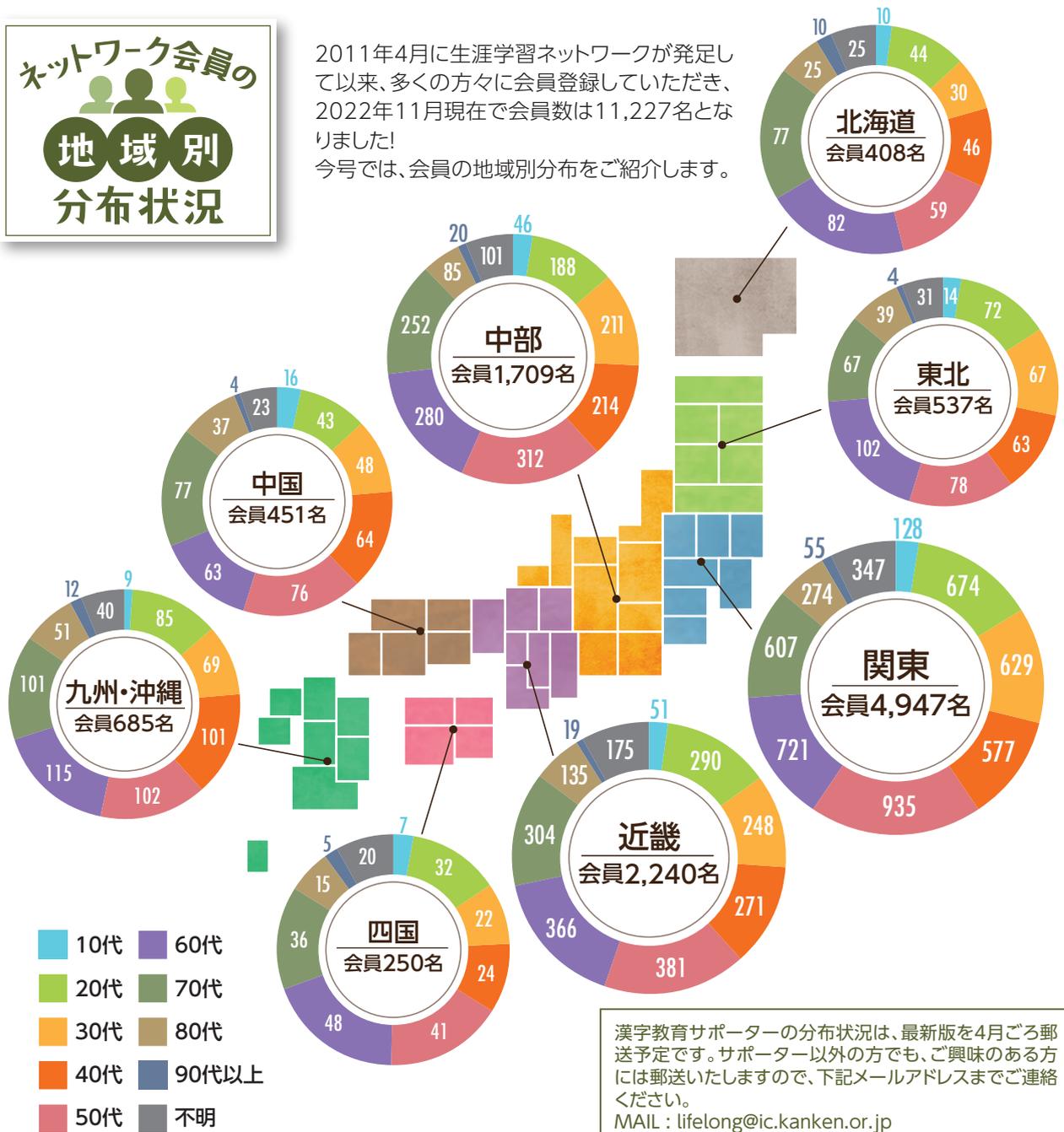
4月9日(日)	7月2日(日) <small>予定</small>	11月5日(日) <small>予定</small>
東京都千代田区	新潟県新潟市	京都府京都市
JR四ツ谷駅周辺	JR新潟駅周辺	漢検 漢字博物館・図書館 (漢字ミュージアム)

状況によって変更する場合がございます。4月9日(日)の詳細は同封のチラシにてご確認ください。



ネットワーク会員の 地域別 分布状況

2011年4月に生涯学習ネットワークが発足して以来、多くの方々に会員登録していただき、2022年11月現在で会員数は11,227名となりました！
今号では、会員の地域別分布をご紹介します。



漢字教育サポーターの分布状況は、最新版を4月ごろ郵送予定です。サポーター以外の方でも、ご興味のある方には郵送いたしますので、下記メールアドレスまでご連絡ください。
MAIL : lifelong@ic.kanken.or.jp

漢字クイズ

難読地名

青森県

今回は、青森県の地名を紹介します。
以下の3つの地名は何と読むでしょうか。

- ①後范（青森市）
- ②数牛（上北郡東北町）
- ③狼森（弘前市）



解答は
6ページへ



鳥居強右衛門

漢字研究の大通りから一歩わきみちに踏み込めば、また違った景色が広がっています。このコラムでは漢字文化研究所の研究員が「漢字の小径」をご案内します。

漢字文化研究所とは、日本文化の側面から日本の漢字をつまびらかにする調査研究等を行うために、日本漢字能力検定協会内に置かれた組織です。

漢字文化研究所・研究員

田中 郁也



歴史好きの方はご存じの通り、長篠の合戦(1575年。武田軍対織田・徳川連合軍)で一躍名を馳せた鳥居強右衛門という武士がいます。彼は武田方の調略を袖にし、味方の来援を籠城中の長篠城に伝えることで勝利に導きますが、そのせいで武田軍によって磔刑にされたと伝わっています。今回は彼の名前の読み方について取り上げましょう。

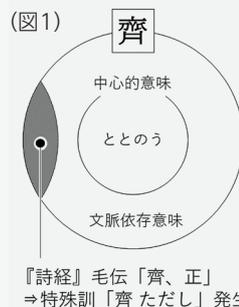
昔から、名前にだけ使われる特殊な訓読みというものがあります。現代の漢和辞典でも、**名前**や**人名**といった記号の下には、一見すると、なぜそう読むのかわからない読み方がいくつも挙がっています。そのうちのいくつかは、中国の字書や古典注釈に由来を求めることができます。例えば、漢字名「齊」を「ただし」と読むのは、『詩経』小雅・小宛の「人之齊聖」に対する前漢・毛亨の注釈に「齊、正(齊は正なり)」とあるためだと考えられます¹。注意すべきなのは、「AはBなり」という注釈におけるA字の「B」という意味は、注釈がつけられる文脈に依存した臨時の意味であって、A字の中心的な意味とは限らないことです²。つまり、訓読み「ただし」が名前ぐらいでしか用いられないのは「齊」字の中心的な意味ではないためで(図1)、こうして、名前でしか使われない特殊な訓読みが増えていったというわけです。

話を戻しましょう。「強右衛門」は実名ではなく通称で、彼の研究者によれば、「性剛直にして人に屈することを欲せず、みずから強右衛門と称した」³と言い伝わるとのこと。その名づけの由来を、上で見た実名の名づけと同じように考えてみましょう。強右衛門の生

きた16世紀中ごろまでの中国の字書や古典注釈の中に「強、拗也」といった記述は見当たりません。続いて当時の日本の辞書を調べてみると、いわゆる古本節用集のひとつ『伊京集』(16世紀ごろ写)に、「強者」(子=ネ)という語が掲出されています。その意味は、『日本国語大辞典(第2版)』によれば“強情を張るひねくれた者”で、「拗者」と同じ。他の資料には「強」という読み方が見つからず⁴、彼の名づけの由来は節用集の表記にあったと言えそうです。

ではどうして「拗者」が「強者」と書かれたのでしょうか。質朴で人に従わない人の性質を「木強」(『漢書』周勃伝)というように、古くから「強」は“強情”という意味で使われています。しかし「強者」という表記が成立したのは、おそらく宋代の俗語「拗強」の影響があってのことでしょう。朱熹の門人たちとの問答集『朱子語類』に、心がねじけて強情な人のことを「拗強底人(拗強の人)」(巻57)と表現する例があります。「拗(すねる)字と組み合わせられる言葉があることによって、「強」と表現する発想が生まれた、と考えるのです。

つまり、宋代の俗語「拗強」を知っている誰かが、主に「拗者」と表記される「すねもの」という言葉を「強者」と書いた。その表記が節用集に収められ、結果的に「強右衛門」という通称が生まれたのではないかと、私は考えています。



1 『後法成寺閔白記』永正九(1512)年二月十六日条に、後奈良天皇の諱(実名)案として「齊仁」が提案され、その根拠として『詩経』毛伝が挙げられている。
2 蔣紹愚『古漢語詞彙綱要』(北京大学出版社、2000年)第四章に詳しい。
3 金子拓『鳥居強右衛門—語り継がれる武士の魂』(平凡社、2018年)p.75。
4 『訓点語彙集成』(築島裕、2009年)の漢字索引、『新編 日本古典文学全集』所収の諸作品(Japan knowledge利用)、『下学集』などの代表的な辞書を調査。



漢字教育 サポーターリレーコラム

第17回

このコーナーでは、リレー形式で漢字教育サポーターの皆さまによる漢字や漢字教育活動に関するコラムを掲載します。第17回は神奈川県にお住まいの有賀 理さんにご執筆いただきました。

みんなで楽しく

第2期漢字教育サポーター 有賀 理

漢字教育士の学習には、他の資格取得の学習とは異なる魅力を感じました。日常使っている漢字についての生い立ち(古代文字、六書等)や国の取組(当用漢字、常用漢字、人名漢字、文字コード等)について知ることは、意外と愉^{たの}しいことだと実感しました。辛かった漢字ドリルや受験勉強の印象が薄れ、文字や言語を身近で興味深いものとして見るできるようになりました。

情報化社会の進展により、日本人と漢字の付き合い方も少しずつ変わってきています。昔から使われながら変化を続けて来た漢字が、この先どんな変化を続けて行くのか楽しみです。そして各地の漢字教育サポーターが起こす変化もきっとあると思います。

私は、横浜市内で関東在住の漢字教育サポーターの方々(北島さん、小田部さん、四方さん、日置さん、間辺さん)と一緒に、毎月「あさひ漢字塾」(毎月第2日曜日)と「みんなの漢字塾」(毎月第4土曜日)を開催しています。この3年間はコロナ禍の影響で集まって一緒に学習することが難しくなり、存続が危ぶまれましたが、漢検協会の「漢字まなび活動助成制度」や応援して下さる方々に支えていただきながら、なんとか継続できており、「あさひ漢字塾」は9年目に、「みんなの漢字塾」は2年目に入りました。

写真は「あさひ漢字塾」5周年の時に、支えていただいている方々のお気に入りの文字を集めて作成したバッグです。参加者の一人が企画して作成してくれました。漢字はみんなで楽しく学ぶのが何よりですね!



2つの漢字塾は、漢字に興味のある人たちをつなげる場として存続させていきたいと思っています。受講者だけでなく講師も常に募集しております。講師デビューの場としてもご活用ください。ご協力いただける方はご連絡ください (Mail : sakurasaku575@outlook.jp)。

みんなで漢字教育サポーターの輪を広げましょう。



有賀さんからの紹介で
今回は東京都の坂本 陽子さんのコラムを掲載します。
お楽しみに!

漢字クイズ 難読地名 青森県

解答

- ① うしろやち (青森市)
- ② かそし (上北郡東北町)
- ③ おいのもり (弘前市)

【今回の一字】 菼 許容字体 菼 (1級)

訓：やち

意味：やち(谷地)。湿地。やつ。

参考：草と泡からなる湿地を表す国字。

参考：『漢検 漢字辞典[第二版]』・『漢字ペディア』
※『漢字ペディア』は登録商標です。

オリジナル漢字クイズ・パズルを募集中! 8ページの投稿先までお送りください。

常用漢字の表外読みをチェックしよう!

第2弾

漢検準1級では約3000字、1級では約6000字が出題対象となります。の中には常用漢字も含まれており、常用漢字のみで構成されている語の出題も少なくありません。会員通信Vol.38では1級で出題された「弥(わたる)」や「警(いましめ)」を紹介しましたが、今回も最近の検定で出題された常用漢字の問題を紹介します!

復習

日々よく目にする常用漢字(2136字)には、常用漢字表に記載のない音読み・訓読みがあり、「表外読み」と呼ばれます。中でも「漢検要覧 1/準1級対応」に記載のある読みは漢検準1級以上で出題対象となります。



1級・準1級で出題対象となる表外読みは「漢検要覧 1/準1級対応」でチェック!

次の下線部分の読みをひらがなで記せ。(訓読み) ※問題形式と設問文は実際の検定と異なります

1. 君子以て獄を折め刑を致す。(標準解答:さだ)

【2022年度第1回1級検定問題より】



ポイント

常用漢字の「折」にはおなじみの「おる」「おれる」という意味だけではなく、「くじける」や「さだめる」といった意味もあります! 上記の文では「さだめる」という訓読みで出題されていますが、「折獄(訴えを裁決すること)」と音読語として扱うこともあります。

折

音 セツ 外 シャク

訓 おる・おり・おれる

外 くじける・さだめる

参考:「漢字ペディア」

プラス
+α

「くじける・くじく」という意味で使われた熟語の例として、「折衝」や「挫折」が挙げられます。

「折衝」は本来「敵のついでくる矛先をくじく」意です。

2. 不虞に備えずんば以て師すべからず。(標準解答:いくさ)

【2021年度第3回1級検定問題より】



ポイント

「師」といえば、「教師」や「医師」など、「教える人。手本となる人。先生。」の意味で使われる例を思い浮かべる人が多いでしょう。しかし、今回の文では「軍隊。いくさ。」の意味で使われています。陸軍の「師団」制度でなぜ「師」の字が使われているのか、字の意味がわかると納得できますね。

師

音 シ

訓 外 みやこ・いくさ

参考:「漢字ペディア」

プラス
+α

「師」には「多くの人の集まる所。みやこ。」という少し意外な意味も含まれています! 熟語の例として、「京師(けいし)」「(天子の住むみやこ。帝都。京都。)」があります。

3. 羨れるを以て足らざるを補う。(標準解答:あま)

【2021年度第2回1級検定問題より】



ポイント

「羨」は「羨ましい」や「羨望」でなじみのある漢字ですが、実は「あまる」の意味もあります。似たような意味の漢字を重ねた熟語として「羨余(せんよ)」や「羨溢(せんいつ/あまりあふれる)」があります。

羨

音 セン(高) 外 ゼン・エン

訓 うらやむ・うらやましい

外 あまる・はかみち

参考:「漢字ペディア」

プラス
+α

「羨」には更に「はかみち。墓所の道。」という字義もあり、「羨道(せんどう・えんどう)」や「羨門(せんもん・えんもん)」という古代の墳墓に関連した用語も存在します!

表外の訓読みを知るとは、字義を学ぶことにもつながります。

字義を捉え違えると、文意を正しく解釈できません。ぜひチェックしてみてください!

※「漢字ペディア」は登録商標です。

お知らせ

会員通信への 投稿募集中!

会員通信を充実させるため、会員の皆さまからの積極的なご投稿をお待ちしています。

アンケートにご回答、もしくはご投稿いただいた方の中から抽選で3名の方に「今年の漢字」図書カード(500円分)をお送りいたします(当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます)。



会員向けアンケート回答方法

今回のアンケートテーマ「ネットワーク会員の検索履歴」

皆さんは最近気になって調べた漢字や言葉(ジャンル不問)はありますか? きっかけや理由も添えてぜひ教えてください。漢検生涯学習ネットワークのオリジナル検索履歴を作り上げましょう。右記の二次元コードを読み取るか右記のアドレスを入力し、2023年3月19日までにご回答をお願いいたします。

https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_647/index.do

※上記のアドレスにアクセスできない場合、メールにてお知らせください。郵送・FAX・メールいずれかの方法でアンケート用紙をお送りいたします。



1級に初めて合格しました!

あなたの合格体験が、1級を目指している方々の励みになります。どのようにして合格に至ったのか、「あなたの」体験をご投稿ください。

投稿内容: ①合格時期
②合格までの受検回数
③合格に向けて工夫したこと、励みになったこと
④合格した時の気持ち、感想
⑤今後の目標

※文字数: 項目①~⑤までの合計で500字以内
※対象: これまでに1級合格経験のある方
※当協会運営のWebサイト「漢字カフェ」に、お名前を伏せて掲載させていただく場合がございます。

投稿方法

①~④を明記し、メールまたはFAX、郵送にて下記の投稿先にお送りください。
①会員番号 ②氏名(ペンネームも可) ③電話番号
④各コーナーへの投稿内容やご意見・ご感想

投稿先 **日本漢字能力検定協会
生涯学習ネットワーク担当**
メール: lifelong@ic.kanken.or.jp
FAX: 075-532-1110
郵送: 〒605-0074
京都市東山区祇園町南側551番地

次号の締切日:2023年3月19日(日)

※投稿・会員通信へのご感想は随時受け付けております。
※お名前・ご連絡先を投稿される場合、掲載しても差し支えないかご確認ください。
※ご投稿いただいた内容は、当協会運営のWebサイトに掲載させていただく場合がございます。
※未成年の方は保護者の方の同意を得て、ご投稿をお願いいたします。
※全てのご投稿を掲載、採用できるわけではございません。また、原稿は一部割愛・校正させていただく場合がございます。

イベント告知

ネットワーク会員に向けて、漢字に関するイベントや学習会、研修会の告知ができます。

投稿内容: ①日時 ②会場 ③内容 ④参加費
⑤公開してもよい連絡先(メールアドレス・電話番号等)

※会員通信は6月、10月、2月に発行予定です。情報をお寄せいただいた時期によっては、会員通信ではなく、メールマガジンでのお知らせとなる場合がございます。

メールマガジン

登録者
募集!

漢検 生涯学習ネットワーク会員向けメールマガジンには登録されていますか?
外部講座や漢検の最新情報、漢字クイズなどの内容を月に1回程度配信しています。メディアへの出演依頼があることも!

メルマガ登録を希望される方は、生涯学習ネットワーク登録変更フォームから、「メールマガジンの登録」を「希望する」に変更してください。登録したけれどメルマガが届いていない、という方も再度ご登録してみてください。

https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_103/index.do



バックナンバー

会員通信のバックナンバーは、協会Webサイトで読むことができます! 見逃した号やもう一度読みたいコーナーは、こちらからご覧ください。



<https://www.kanken.or.jp/kanken/lifelong/news.html>

漢検

公益
財団法人

日本漢字能力検定協会

本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地
※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。

<https://www.kanken.or.jp/>



0120-509-315

月~金9:00~17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)
※検定日とその前日の土・日は窓口を開設
※検定日は9:00~18:00

